

フジイ

新型除雪機の内見会を開催

高性能エンジン搭載で作業能率が向上

フジイコーポレーション された。

ン(株) 新潟県燕市小池2

85・0256(64)

5511・藤井大介社長

IIは4月に新型スノーロ

ークリーSQ1248D

K-2(除雪幅1200

ミリ、47・2馬力(を4

月に発表したが、今回、

同機の内見会が5月10

12日の3日間、新潟県魚

沼市銀山平において開催

して初となる、エンジン

最新の自動制御技術も装

防振マウントなどによ

り、作業能率・投雪距離

を大幅に向上させ、低騒

音・低振動化による快適

作業を実現。また、スマ

ート機能として、エンジ

ンや機体の状態を表示す

る新型モニターパネルを

採用し、簡単に平らに除

雪できるスノーマチック

さらに、オーガ部分へ力との作業性能の違いの雪の滞留を低減し、除雪作業を効率化するシラ SQ1248DK-zに

クルオーガを標準装備し搭載している高馬力エンジンと電子制御コモンレールシステムにより、作業を実現。また、スマート機能として、エンジ

ト機能は、従来機と比べて高価(100万円ほど)だが、快適な作業

価格は、従来機と比較して高価(100万円ほど)が、快適な作業

性と作業能率の高さを考慮すると、除雪の請負業者等には最適な機種と言った形となつた。

業スピードの違いは明らかで、改めて新型除雪機の除雪能力の高さを示唆する。除雪の請負業者等には最適な機種と言えそうだ。



新型除雪機SQ1248DK-z



新型による除雪作業



除雪作業の比較実演。手前が新型